



子どもの森の健康診断 in 檜川小中学校



令和5年 8月 21日

参加者3名、教員1名、地域ボランティア6名

一般社団法人塩尻市森林公社



檜川小中学校の生徒と保護者を対象に3名の皆さんと
『子どもの森の健康診断』を実施しました。



1.学び



晴天に恵まれ、木の葉が揺れ、木の香りが漂う中始まった「森の健康診断」。
まずは森の勉強です。公社職員から、木の種類や森のはたらき、森林整備の必要性などについて、紙芝居や写真を使って学習します。

2.調査

調査開始。

まずは、目を閉じ、耳を澄まして、五感で森を感じます。鳥のさえずりや草木の香り、地面の感触や明るさなど、それぞれに感じたことを発表し合います。



釣り竿などを使って木の混み具合を調べます。また、木の胸高直径を巻尺を使って調べます。測い終わったら「早見表」を使って混み具合の診断です。

3.体験

さあ、いよいよ/コギリを使って木を伐倒します。木を伐るにはまず、「受け口」と「追い口」を作ります。ふだん使ったことのない/コギリに苦戦しながら、一生懸命伐います。後はみんなで力を合わせ、ロープを引っ張り倒します。



間伐したことで、空が開きます。間伐はとても大事な作業。これで、日光も当たり、草木が生えることで森が健康になります。

Before



After



皆さんの感想

- 木をノギリで切るのは大変だったけれど、楽しかった。
- 木を切るのは大変だった。
ロープで引いて倒せてよかったし、達成感があった。
- 森の知識を学べて、子どもたちと一緒に体験できて楽しかった。
また、切った後のヒノキの香りがよかった。

森の健康診断を通して、幅広い世代が、山を身近に感じ、山の素晴らしさを知り、山に囲まれているこの塩尻をさらに好きになってもらえたら嬉しいです。言葉で山の魅力を伝えることには、限界があります。山に入り、肌で感じ、体験することで、より深く山のことを学習できると感じています。

そして、ここでの体験が記憶の中にとどまり、将来へと引き継がれていくことを願っています。

「山を守り、育て、共に生きる」

私たち塩尻市森林公社は、これからもこの活動を続けていきたいと思ひます。

